

女子硬式テニス部

都立対抗テニス大会 準優勝

7/13,21,22,23 に行われた第63回都立対抗テニス大会において、国立高校女子は準優勝となりました。(参加校97校)。

準決勝の南多摩戦を 3-0 で勝ち上がり、決勝の相手は去年まで八連覇していた強豪東大和高校。S1 をとり、D1, S2 を落とし、S3 は大きくリード。勝負となったD2 も 3-1 までいきましたが、そこから「あと1本」がとれず逆転負け。トータル2-3 で東大和に敗れ、悔しい準優勝に終わりました。

78期(3年生)は、今から2年前76期に憧れて厳しいと評判の国高女硬に入部しました。一つ上の代の先輩がおらず、常識に囚われない実験をたくさんし、そしてたくさん失敗し、何度も転び、何度も涙を流してきました。

昨年の大会で16年ぶりに優勝し、今年は「都団二連覇」を目標に1年間努力してきました。自分達より経験のある相手に勝つために、毎朝なかまと教えあい、ただ試合に出られる枠は決まっているので、そのなかまと厳しい部内戦で切磋琢磨してきました。そして、それでも「目標」は叶いませんでした。

ただ、今のコンフォートゾーン(自分の心地よい状態)を抜けだし、「まだ見ぬ自分と出会う」ために、あえて苦しい厳しいことに挑戦する。本気でぶつかり合うことを通して、お互い人として成長し、信頼できる「なかま」になっていく、やりきったときに「一生もののなかま」になっている、という目的は達成できたと感じています。

当日は、保護者の方やOBOG、男硬だけでなく、同級生達もわざわざ応援に来て下さいました。この場をお借りして御礼申し上げます。

チームミッションである、「常笑で120%の努力をすることで周りの人に活力を与える」を達成し78期はこの大会で引退していきました。

79, 80期の新チームは78期を超えられるよう、今年も全力で挑戦し続けます。引き続き国高女硬の応援をよろしくお願い致します。

